

富士山・富士五湖エリア



河口浅間神社の七本スギ
七本にはそれぞれ御爾、産射、齡鶴、神綿、父母(2本で一つの名:写真)、天壤と名付けられている。



かわぐちあさまじんじゃ
河口浅間神社

貞観6年(864)の富士大噴火を鎮めるため、翌年創建された。元の社殿の向きは富士山に対峙していた。富士山世界文化遺産の構成資産の一つ。樹齢1200年に及ぶ巨木・七本スギは、県指定天然記念物。

- 南都留郡富士河口湖町河口1
- 0555(76)7186
- 国指定史跡(富士山に包括) 県指定天然記念物:七本スギ



えん づう じ
円通寺

都留郡の大原代官・小林尾張守が文明2年(1470)に開いた。本堂は禅宗特有の寺院建築、庫裏は桁行13間の入母屋の大規模な建物で明和8年(1771)の建立。境内には溶岩を掘り抜いた「甘露井」という井戸がある。

- 南都留郡富士河口湖町船津3932
- 0555(72)0279



れん げ じ
蓮華寺

大同4年(809)創建の密教寺院だった。弘安5年(1282)に、当時の住職が日蓮聖人との法論に屈して改宗した。寺宝の鱧口は工芸品として美作で価値が高い。現在は県立博物館に寄託されている。

- 南都留郡富士河口湖町大嵐6
- 0555(82)2139
- 県指定文化財:鱧口



はく さん じん じゃ
白山神社

寛永21年(1644)、地元の住民が加賀国一宮の総本社・白山比咩神社から分霊を受け、白山大権現として開いた。俗に疣権現とも呼ばれる。10月の紅葉祭は、参道の両側にモミジの枝を立て奉納する珍しい神事。

- 南都留郡富士河口湖町浅川1039



つつ ぐち じん じゃ
筒口神社

河口湖に筒口という渦があり、漁夫らが吸い込まれ恐れられていた。そこで水神を祀り、筒口明神と名付けた。文明8年(1476)拜殿造営。吸い込まれた柄杓が都留市を流れる杓流川から出てきたという伝説も。

- 南都留郡富士河口湖町船津5



ふじ おむ ろ せんげんじんじゃ
富士御室浅間神社

富士山最古の神社として二合目に創建されたという。河口湖畔に建てられた神社は里宮で、本宮は保存のため、里宮境内に遷祀されている。4月29日には伝統ある「流鏝馬」が行われる。富士山世界文化遺産構成資産。

- 南都留郡富士河口湖町勝山3951
- 0555(83)2399
- 国指定史跡(富士山に包括) 重文:本殿 県指定文化財:勝山記、御室浅間神社文書、富士御室浅間神社文書




す わ じん じゃ
諏訪神社

甲府から精進湖を経て静岡に出る古道・中道往還沿いにある。武田信玄や徳川家康の文書が残るといふ。本殿を覆う雨屋の天井には百人一首の絵が描かれている。大スギは2本あり、柵で囲ってある方が精進の大スギ。

- 南都留郡富士河口湖町精進84
- 国指定天然記念物:精進の大スギ



諏訪神社の茅葺き屋根
かつての中道往還沿いの、ひっそりと静かな集落の中にたたずむ、茅葺きの趣きある拝殿。

P 69 



うつむろせんげんじんじゃ
無戸室浅間神社

船津胎内樹型(富士山世界文化遺産構成資産)の入口に建つ。宝暦2年(1752)、富士講行者が発見したという洞穴を浅間明神誕生の地として創建した。洞穴を母の胎内に例え、潔斎して中をくぐると生まれ変わるという。

- 南都留郡富士河口湖町船津6603
- 国指定天然記念物: 船津胎内樹型
- 船津胎内樹型拝観料: 高校生以上200円 小中学生100円



まおうてんじんじゃ
魔王天神社

身延町下部にあった社を享禄元年(1528)に遷宮したという。急な石段を登ると昼なお暗き境内が。村では風の神「オダイロサマ」と呼び親しんでいる。4月18日の例祭には太々神楽が奉納される。

- 南都留郡鳴沢村7585-2



はちまんじんじゃ
八幡神社

創立は慶長年間(1600年頃)と伝えられる。文化14年(1817)に現在の地に拝殿が建てられ、平成13年(2001)に廻り舞台を改修した。本殿は唐破風造りで、四方には彫刻が施されている。

- 南都留郡鳴沢村大田和3323



さいねんじ
西念寺

養老3年(719)、行基が富士道場として開き、永仁6年(1298)、他阿真教が時宗に改めた。富士山信仰との関わりも深い。薬師堂の清涼寺式釈迦如来像は薬師如来に改作され「西念寺やくし」と呼ばれている。

- 富士吉田市上吉田7-7-1
- 0555(22)0847
- 県指定文化財: 木造釈迦如来立像



げっこうじ
月江寺

かつては上吉田にあったとされ浅間社を鎮護する寺院だった。天文16年(1547)に現在地に移り、臨済宗向嶽寺派から妙心寺派となり、有力寺院として郡内地方の中心となった。学校法人月江寺学園を併設する。

- 富士吉田市下吉田869
- 0555(23)4000



さいほうじ
西方寺

嘉禄2年(1226)の開山と伝わる。本堂は享保年間(1716~35)の建立。山門は寺院建築としては珍しい武家門。堂宇は建築当時のまを伝える。徳川家との縁も深く、大戦中は家康の守り本尊(黒本尊)が疎開していた。

- 富士吉田市小明見2058
- 0555(22)0299
- 県指定文化財: 弥陀種子板碑

山梨の神社メモ

【延喜式「式内社」】

「延喜式」は平安時代の延喜5年(905)、醍醐天皇の勅命によって編纂が始まった法典で、その内の9、10巻は全国の神社2861社をまとめたものになっている。記載された神社は「式内社」と呼ばれ、山梨では20社が載っている。ただし、現存する神社との関連は明らかでないものもある。



おむろせんげんじんじゃ
小室浅間神社

征夷大將軍坂上田村麿がこの地で富士山に戦勝を祈願、功業を収めたので社殿を草創したという。中世には武田家の祈願所だった。9月19日の流鏝馬神事は古式に則って行われ、境内には神馬舎も設けられている。

- 富士吉田市下吉田5221
- 0555(22)1025



吉田の火祭

日本三奇祭の一つ「吉田の火祭」は、毎年8月26日、27日に行われる北口本宮富士浅間神社と撰社(本社に付属し、本社と末社の間に位置する)の諏訪神社の祭典。26日午後、神事のあと神輿が参拝者で賑わう参道から表通りへ下る。御旅所到着とともに高さ約3mの筍形に結い上げられたおよそ80本の大松明と家毎に積まれた松明に一齐に点火され、街中は火の海と化し、祭りは夜遅くまで賑わう。重要無形民俗文化財。

ちよつとより道
麺のこしの強さは富士山級!?
吉田のうどん



荒ぶる美神・富士山の神 このはなさくやひめ 木花開耶姫 伝

古代、富士山は噴火鳴動する火山だった。古代人は、富士山の噴火は岳神の怒りと信じ、その荒ぶる神を鎮めようと神社を建立した…。

木花開耶姫は、夫のにせいのみこと瀬邇芸尊と結婚したその日の夜の契りで妊娠した。お腹の子の父親が別の男ではないかと疑った瀬邇芸命に対して、姫は怒って「尊の子であればどんな災いの中でも無事生まれるはず」と、出入り口のない産屋の中で自ら火事を起こし、その炎の中で三人の子供を産んだ。

その後、木花開耶姫は火の神として富士山の神となった。

奈良時代以降、人々は富士山が噴火しないように、木花開耶姫に祈りを捧げた。



きたぐちほんぐうふじせんげんじんじや
北口本宮富士浅間神社

日本武尊が東征の帰途に立ち寄ったことが起源という。主祭神は木花開耶姫。富士山遙拝の場から、江戸時代には吉田口登山道の起点とされ富士信仰の拠点として栄えた。

■富士吉田市上吉田5558
■0555(22)0221
■国指定史跡(富士山に包括) 重文:本殿、東宮本殿、西宮本殿、太刀 具指定文化財:拝殿及幣殿、神楽殿ほか5棟 具指定天然記念物:大スギ



北口本宮富士浅間神社本殿
平成21年に改修され、鮮やかに彩色された本殿。



忍野八海浅間神社の境内
境内には、社殿や神門を囲むように、
高さ20m以上のイチイの巨木が群
生している。

 P78



しょうてんじ 承天寺

寿永3年(1184)に開かれ、鎌倉幕府の重臣・畠山重忠が堂宇を整備し仏像などを寄進したという。その後火災に遭い、江戸時代に再建、その際臨濟宗に改め寺名を承天寺とした。和唐折衷様式の鐘楼は村の文化財。

■南都留郡忍野村内野192
■0555(84)2356



とうえんじ 東圓寺

忍野八海に隣接する天台宗寺院。富士山修行の道場として弘仁元年(810)に開創されたという。比叡山延暦寺の末寺。参道は桜並木になっていて、花の時はライトアップされる。写経、座禅、精進料理は要予約。

■南都留郡忍野村忍草38
■0555(84)4114



おしのはつかい せんげんじんじや 忍野八海 浅間神社

大同2年(807)の創建という。忍野八海の守護神。本殿は三間社流造で、重文の三神像が御神体として祀られている。随神門には持国天と増長天が安置されている。境内にはイチイやケヤキの大木が群生する。

■南都留郡忍野村忍草456
■0555(84)2857

■重文:木造女神坐像及男神坐像 県指定天然記念物:イチイ群

P 76



うちの せんげんじんじや 内野 浅間神社

本殿には貞治2年(1363)の棟札が現存し、村内最古の建物とされる。鎌倉時代の作とされる三神像を御神体としている。境内には根回り9mのトチノキの巨木がある。富士湧水の里水族館へ車で11分。

■南都留郡忍野村内野1
■0555(84)2857(忍野八海浅間神社)



じゅとくじ 寿徳寺

弘法大師が建てた草庵が起源といわれている。開山は文応元年(1260)とされる。武田信玄が祈願所に定めた。境内には歌劇「蝶々夫人」の主役で有名なオペラ歌手 三浦環の墓所がある。本尊は地藏菩薩。

■南都留郡山中湖村平野147
■0555(65)8209



やまなか す わじんじや 山中諏訪神社

天皇の勅命により、蔓延した疫病を封じるために創建されたという。9月4~6日に行われる「安産祭り」は妊婦や幼児を背負った女性が神輿を担ぐ全国的にも珍しい祭り。国道をまたぐ橋の西には山中浅間神社がある。

■南都留郡山中湖村山中御所13
■0555(62)3952



ちよつとより道
フローラルドームが人気
山中湖花の都公園
南都留郡山中湖村山中1650
☎0555(62)5587

